



こえみ 山中 美恵子
やまなか み え こ

質
問
QUESTION

非常食に助成を

回
答
ANSWER

個人備蓄品の充実を啓発します

[総務課長]

質
問

日本の各地で地震が発生し、スロースリップ（ゆっくりと断層が動いて地震波を放射せずにひずみを開放する）という現象が起きつつあります。ここ30年の間に70%〜80%の確率で南海トラフ巨大地震が発生するといわれています。

9月6日未明に北海道で震度7という大地震が発生し、土石流により多くの住宅が押しつぶされ、死者41人上っています。本町ではボランティアの受入体制のマニユアル化はできています。全町民が災害にも

つと関心を高めていただくために、どなたかの人が備蓄品の準備をしているかアンケート調査の上、非常食等に助成制度を設けたり、ペットボトルを配布するなどの取り組みをお願いします。

回
答

町の備蓄食料品として、パンは約3000食、麺類は約2000食、ご飯類が6100食ありますが、十分な備えであるとは言えません。現在



町で備蓄している非常食の一部

の「一括集約型」の保管から、「分散型」の保管や備蓄方法等について再考する必要があります。ボランティアの受入体制は大変重要であり、その受付は被災者のニーズなどを把握した上で、必要な援助を要請することになります。防災意識の向上を図るためにも、アンケートを実施したり、備蓄品の啓発チラシを配布するなど考えます。

質
問
QUESTION

サッカー場に夜間照明を

熱中症対策として、夜間利用できるように検討します

[生涯学習課長]

回
答
ANSWER

質
問

サッカー場の利用は夏日中は熱中症になる可能性で練習できず、冬は日が短く練習することができません。夜間照明を整備することで以下のようない点点が挙げられると考えます。

- ・子どもたちが日頃使い慣れたグラウンドでナイター練習ができること。
- ・中学校の道具を借りなくても、少年団の道具が使えること。
- ・送迎、特に迎えの時に、中学校の部活の夜の練習の送迎車と重ならないので、駐車に困らないし、子どもが安全に

回
答

サッカー場の夜間照明の整備は、隣接住民や畑地権者との協議・承諾などの課題があります。さらに照明器具やそれを支える強靱な支柱など多額の費用が見込まれます。町としては、熱中症対策や町民が広く、多目的に夜間利用できるように検討していきます。